

海外安全対策情報（2025 年 4 月～6 月）

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1 社会・治安情報

警察当局による全国的な組織犯罪の取り締まりが累次にわたって実施され、薬物取引や人身売買などの罪で多くの容疑者が逮捕されたほか、薬物や武器が多数押収されました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪事案

6 月、サラエボ市内のショッピングセンターの駐車場で、女性が男 2 名の強盗に遭う事件が報じられています。

3 日本人が被害に巻き込まれた事案

4 月、モスタルで、日本人観光客がリュックサックの中に入れていたバックを盗まれ、旅券や貴重品を失う被害がありました。同じく 4 月、サラエボでも、日本人観光客がバス停付近で写真撮影をしていた際に、背負っていたリュックサックから旅券入りのバックをすられました。また、5 月には、サラエボで、日本人観光客がホテルの部屋に置いていたカバンからクレジットカードを抜き取られ、不正に使用される被害に遭ったとの報告を受けています。

4 テロ・爆弾事件発生状況

（1）4 月、サラエボ市内のカントン（県）の裁判所に対し、爆破予告があり、建物に居た人々が一時退避しましたが、後に虚偽であることが確認されました。

（2）これまで日本人が被害に遭ったテロ・爆弾事件は認知していません。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人が被害に遭った事件は認知していません。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

特段の問題は報告されていません。